



## 令和7年 はたちのつどい



上記の集合写真は1月27日(月)～2月28日(金)まで、社会福祉センター窓口にてお渡しします。

## 希望と感謝を胸に 20歳の門出を祝う

1月12日「はたちのつどい」が社会福祉センターで開かれ、20歳を迎えた若者たちが誓いを新たにしていました。

今年度、20歳を迎える70人のうち43人が出席。  
(平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方)

式典では川島眞澄教育長が「現実を見据えた目標を持ち、高い志と熱意、行動力を持って、目標達成に向けて挑戦し続ける大人になることを期待しています」と式辞を述べました。続いて来賓の棚



司会アシスタントの時田陽多さん

野孝夫町長、富田忠行町議会議長がそれぞれ祝辞を述べました。

出席者を代表し、松崎賢心さんと山口諒奈さんが町民憲章を朗読。松田侑晟さんと高橋楓さんが誓いの言葉を述べました。また、三宮壮斗さんと立石茉鈴さんが感謝の言葉を述べました。

結びに地域おこし協力隊の山田陽子さん(ピアノ)と福田美佳さん(オペラ)による演奏や、白糠手話の会がサライ(曲)に乗せて手話を披露し、式典に花を添えました。



祝電披露をした太田桃里さん

## 感謝の言葉

### 三宮 壮斗 さん

尊敬する両親の元で生まれ、成長することができて私は幸せです。今後は、さらに自覚と責任を持ち、周りから信頼される大人になれるよう、夢に向かって努力していきたいと思います。



### 立石 茉鈴さん

今までお世話になった方への感謝の気持ちを忘れず、今後は成人としての自覚と責任を持って行動します。将来の夢に向かって日々努力し続け、立派な社会人になれるよう精一杯頑張ります。



「はたちの誓い」を述べた高橋さんと松田さん

記念品を受け取った中村兼悟さん

「町民憲章」を朗読した山口さんと松崎さん